

改革推進本部名	各部入賞区分
総務部	代表

※ 各部入賞区分は、各部代表提案は「代表」、努力提案は「○」、キラリ賞推薦提案は「キラリ」と書く。

## 平成30年度 改善実績提案報告書

<b>提案名</b>		採用試験におけるテストセンター方式の導入													
<b>所属</b> (課名とチーム名・グループ名)		<b>代表者</b>	松崎 晃平【入庁3年目】												
<b>ココが変わった！！ 改善内容</b>															
こんな問題がありました【改善前の問題点】		こう変えました【改善による変更点】													
<p>事務職の自己アピール枠や、民間等経験枠などの多様な人材を求める試験区分において、受験者数の減少や、久留米市外・福岡県外からの申込数が少ないことが課題であった。</p> <p>また、秋期に実施している民間等経験枠の事務職は申込者数が減少しているとは言え、受験者数が200名程度に及んでいた。そのため、1次筆記試験においては、大規模な会場の2箇所に分かれて実施し、数十名の動員が必要になるなど、事務負担が膨大であった。</p>		<p>自己アピール枠と民間等経験枠の試験区分に、テストセンター方式を導入した。これは、受験期間中であれば受験者が希望の日時を選択でき、全国約200箇所から会場を選択できるコンピュータを使った試験方式である。これにより受験者の利便性を高めることができた。</p> <p>また、このテストセンター方式の導入により、自前で試験実施をする必要がなくなった。</p>													
<b>アピールポイント【改善による効果】</b>															
<b>提案ジャンル</b> (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度の向上 <input type="checkbox"/> 連携・協働による成果 <input type="checkbox"/> 収入増・コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事務の正確化・効率化 <input type="checkbox"/> 市の魅力向上 <input type="checkbox"/> 安全性の向上 <input type="checkbox"/> 職場の雰囲気向上 <input type="checkbox"/> その他( )	<b>改善の視点(一つを選択)</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 集約化 <input type="checkbox"/> 共有化 <input checked="" type="checkbox"/> ICT化 <input type="checkbox"/> その他 (利便性)	<p>テストセンター方式の導入により、受験者は自分の都合に合わせて試験日や会場を選択できるようになり利便性が向上した。結果として、受験者数が大幅に増えたのとともに(表①)、市外や県外からの申込者を格段に増やすことができた(表②)。これにより、より多様な人材に受験してもらえるようになった。</p> <p>事務負担については、テストセンター方式を導入したことで、その分の試験を自前で実施する必要がなくなり、今まで2会場で実施していた大規模な試験を1箇所にまとめることができた。これにより、課外からの動員が不要になるなど、試験実施業務を大幅に簡素化することができた(表③)。</p>												
	<b>【数字でみる効果】</b> コストの削減、歳入の増等(円/年)、利用者等の増等(人/年)、省力化(時間/年)など														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>《参考値》</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①民間等経験枠・事務職 申込者数</td> <td>162人</td> <td>263人</td> </tr> <tr> <td>②民間等経験枠・事務職 受験者市外割合</td> <td>55%</td> <td>71.8%</td> </tr> <tr> <td>③秋期1次試験従事人数</td> <td>40人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>	《参考値》	29年度	30年度	①民間等経験枠・事務職 申込者数	162人	263人	②民間等経験枠・事務職 受験者市外割合	55%	71.8%	③秋期1次試験従事人数	40人	12人	
《参考値》	29年度	30年度													
①民間等経験枠・事務職 申込者数	162人	263人													
②民間等経験枠・事務職 受験者市外割合	55%	71.8%													
③秋期1次試験従事人数	40人	12人													

※スペースが足りない場合には、添付資料(A4版1枚まで)を付けてください。

**所属長からの推薦コメント**

上記の受験者の確保や事務負担の軽減などの効果以外にも、天候不良や交通遮断等のリスクへの対応が不要になったり、近隣の生活環境(違法駐車、交通渋滞)の問題が改善されたりと、二次的な効果も多く、評価できる取組である。

【所属長氏名 広松 和美】